

平成30年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成30年5月22日(火) 14:00～16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 なし
- 5 配布資料 (1) 平成30年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1
(2) 平成30年度東京都公民館連絡協議会定期総会 議案書・・・資料2
(3) 平成30年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料3
(4) 平成30年度東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料4
(5) 平成30年度小平市公民館九館会 総会資料・・・資料5
(6) 平成30年度第1回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料6
- 6 次第 (1) 小平市中央公民館等の更新について
(2) 館長報告
(3) 平成30年度 小平市公民館定期講座実施状況について
(4) 平成30年度 公民館まつり等について
(5) 平成30年度 東京都公民館連絡協議会について
(6) その他

会議の概要

- 1 小平市中央公民館等の更新について
公共施設マネジメント課より資料に基づいて説明した。

(質疑応答)

委 員 この中央公民館の竣工はいつか。

担 当 課 昭和39年建築で、既に50年以上経過している。

委 員 新建物の工事着工はいつ頃か。

担 当 課 具体的には未定だが、公共施設マネジメント推進計画で示す基本的な検討手順に当てはめて考えると、基本計画策定後、4～5年後となる見込みである。

委 員 なかまちテラスのような建物ではなく、費用対効果を考えて進めて欲しい。

委 員 地域代表者等の募集はいつ頃か。

担 当 課 市民参加については、まだ内部で検討している。この地域代表者等で検討することも一つの案ではあるが、オープンに全市民と検討していきたいとも考えている。実施にあたっては、意見交換やワークショップ等の手法を検討している。

委 員 なかまちテラス開館に向けた市民会議に参加していたが、デザインも業者も設計も決まっていて、それから市民の声を聞いても、反映できるものが限られていた。設計等が決まる前の段階から市民参加を募り、声を聞いて欲しい。

担 当 課 基本計画づくりから、市民のご意見を伺っていく。

担 当 課 なかまちテラスについては、デザイン案を募集して決定した経緯がある。今回は、そのようなデザインを募集する方法ではないと考えている。

会 長 ぜひ市民から広く意見を伺って進めて頂きたい。

委 員 中央公民館と健康福祉事務センターの複合化は決定しているのか。近隣施設も含めて、どの程度、検討は進んでいるのか。

担 当 課 複合化については、基本計画の策定の中で検討していくことになる。公共施設の床面積2割を人口減少に合わせて縮減していく方向性が公共施設マネジメント推進計画に明記されている。複合化は決定ではないが、その方向性で検討している。

委員 中央公民館は、利用率が高いので、現在利用している方の声を聞いてほしい。

委員 新建物の建築に係る費用はどの段階で検討していくのか。

担当課 基本計画策定の中でも費用について検討していく。また、国のメニューでは、施設を複合化すると起債が認められる。補助金の有無や財源充当など、財源の面も合わせて検討していきたい。

委員 公民館と健康福祉事務センターを複合化する場合、どこに建てるのか。

担当課 どこに建築するかも検討事項である。中央公民館を一定期間閉鎖して、同じ場所に建築する方法はあるが、開館しながら近隣の空地に建築する方が妥当であると考えている。

2 館長報告

(1) 公民館事業実績について

公民館事業計画に基づき、昨年度も全館で様々な事業を展開し、市民の皆様が自主的に学習するきっかけづくりや活動の場を提供するとともに、学習活動を通じた地域の交流やコミュニティづくりを支援した。

昨年度は、公民館全11館において、119コース、681回の講座・学級を開設した。全11館の利用者数は、49万9,807人である。

(2) 中央公民館ロビーの愛称募集について

今年3月に、中央公民館の1階ロビーをリニューアルした。

そこで、ロビーの愛称を、「中央公民館 結カフェ」という、中央公民館をより親しみやすく、より利用しやすく改善するために、利用者の皆様が集い、対話をする場にて検討した。

その結果、2つのネーミングに絞られ、それを現在、利用者に投票して頂いている。来月15日(金)まで、公民館東側入口にパネルを用意し、シールを貼る形式の投票を行っている。

なお、選ばれた愛称については、ロビーに表示するなど、広くPRする。

(3) その他の報告事項について

これから夏に向けて、本年も引き続き中央公民館だけでなく、一部の分館では「緑のカーテン」の設置をする。

また、5月1日から10月31日までクールビズとして、職員の軽装を実施している。

(質疑応答)

委員 ロビーの愛称の候補を教えてください。

館長 「ふらっとロビー」と「パル×パル広場」で、ふらっとには、小平の「平」の意味も込められている。また、パルとは、仲間という意味であり、それを掛け合わせることで仲間の輪が広がっていくということをイメージしている。来館者が、良いと思った方にシールを貼ることになっている。

委員 いろいろな講座があるが、その後サークル化につながったものはあるか。

館長 事業実績の5ページから11ページが館別実施状況となっている。講座名が網かけになっているものがサークル化し、講座終了後も継続した学びにつながっている。

また、記載はしていないが、講座のテーマに関連した既存のサークルに加入したケースもある。

委員 14ページの講座・講演会等事業費について、シニア世代対象の事業費が15%程度となっている。人口構成を踏まえて、シニア世代対象にもっと事業費を投入しても良いのではないか。

館長 シニア世代に特化するのではなく、少子高齢化に対する課題を検討する上で、多世代交流や地域のコミュニティづくりの視点の中で、シニア世代を考え講座を組み立てていきたい。

委員 公民館の利用状況について、延べ人数で約50万人と出ているが、実人数では出せないのか。

館長 実人数を把握することは難しい。

委員 保育事業について、花小金井南公民館は実施していないが、今後はどうか。

分館長 平成30年度は、秋から保育付きの講座を開催する。

委員 4ページからの講座等の定員や応募、受講の表について、定員に満たない館と定員をオーバーしている館がある。また、5ページからの館別実施状況では、サークル化している館とそうでない館がある。それらの点で、上手くいっている館とそうでない館の情報の共有はどうなっているか。

館長 公民館の講座は、集客力の高い講座がある一方で、地域の課題解決など集客に結び付かなくても公民館として実施する必要性のある講座も実施している。必ずしも応募が少なかったから上手くいっていない、評価が低いとは認識していない。しかし、応募状況が左右されるPR方法については、課題であると考えている。そこで、月に一度の分館担当係長会議で、情報共有をしている。

3 平成30年度小平市公民館定期講座実施状況について 事務局より資料1について説明した。

(質疑応答)

中央公民館について

委員 最近のシルバー大学のメニューに地域活動に関連したものが少ないように思うが。

事務局 例えば、地域活動リサーチというメニューがある。これは、市民活動支援センターあすびあや社会福祉協議会などに訪問し、様々な地域活動やボランティア活動の情報を収集するとともに、活動を体験する機会である。その後、受講生が今後どのような活動に参加したいか、どのような活動に興味を持ったのか発表する。このような体験を通して、地域で活動する人材を発掘し、育成していくプログラムである。

委員 地域活動をテーマにした内容がゼロではないということか。

館長 シルバー大学は、地域デビューのきっかけづくりという目的が強い講座である。各回のメニューにボランティアや地域参加などの文言は少ないが、公民館や福祉活動などでのボランティア体験を盛り込んでいるものが他にも多くある。これは、ボランティアという言葉を前面に出すと応募しにくいという市民の方からのご意見を踏まえ、チラシなどには工夫した形で表現した。

分館について

委員 小川西町公民館の家庭教育講座「子どもの思考力・表現力を高めるコーチング

習得」の定員は増やせないのか。

分館長 当初16人の定員のところ、応募状況に合わせ、講師と相談したうえで20人に増やした。

委員 小川公民館のシニア講座「これで安心！60歳からの生前整理」の小宮先生はとても人気があるので、市内の色々な場で講師をされている。整理収納アドバイザーの資格を持つ講師は市内にもいると思うので、同じ講師だけでなく広く検討してほしい。

委員 同じ意見だが、市内で講師ができる優秀な人は他にもたくさんいると思う。公民館の中で情報共有のリストがあってもいいのではないかな。

会長 公民館事業計画の中の目標の3で、地域の人材の育成とネットワークづくりの促進という項目があるので、進めてもらいたい。また、公民館事業企画委員会の委員から、地域の講師を紹介することもあるのではないかと期待している。

委員 定員オーバーをしている講座があり、難しいかもしれないが、落選者向けに、後期に再度、同じ講座を開催することは考えられないか。

館長 昨年度は、小川西町公民館で、予算残が生じたことにより、追加で開催した講座はあった。しかしながら、当該年度に実施する講座は、事業計画に明記され予算も年度当初から決まっている。事業計画に基づき予算を計上していることから、別途新たな講座を実施することは基本的に困難である。

委員 年度当初に、予算を多めに取っておいて、最後に充てるということは考えられないか。

館長 事業計画に基づき必要な経費を予算化しているため、公民館として、使途が決まっていない予算の確保は難しい。人気のありそうな講座は、はじめから定員を増やして対応している。

分館長 上宿公民館では、ストレッチの講座が人気があり、翌年度に再度追加で開催したことがある。

分館長 花小金井南公民館では、昨年度、太極拳とピラティスの講座が定員をオーバー

した。2つともサークル化した際に落選者に連絡し、講座には受講できなかったがサークルから参加しているケースもある。

委員 同じような講座のテーマに対し、応募状況が異なっている。講座名の付け方によって集客数が左右されるのではないかと思った。花小金井北公民館の「基礎中国語と中国文化を学ぼう」について、「文化」が入っているのは良いと思う。

4 平成30年度公民館まつり等について

(質疑応答)

委員 上宿公民館まつりを見学した。全体的に展示数は少なく感じたが、内容があると思った。仲町公民館に行って感じたことは、建物のデザインが凝っていて、部屋の配置が分かりにくかった。頭をぶつけないか心配になった。

会長 公民館まつりでは、最近、講演会よりも音楽会が増えている。各公民館まつりに小・中学校が参加しているが、今後も中学校の協力は得られるか。

委員 音楽ということであれば、小平市の中学校では吹奏楽が盛んである。コンクールや各行事などを避ければ、中学生の部活が協力できていると思っている。

会長 鈴木公民館では、小・中学生がボランティアとして毎年協力して頂いているので、今後もお願いしたい。

5 平成30年度 東京都公民館連絡協議会について 事務局及び委員より資料2・3・4について説明した。

6 その他

・小平市公民館九館会総会について
事務局より資料5について説明した。
鈴木公民館利用者連絡会が脱退を意思表示した。総会の中では保留となる。

・公民館運営審議会を12月は花小金井南公民館、1月は小川西町公民館で予定する。

次回は、7月17日(火)午前10時より、中央公民館会議室にて開催する。